

文化行政にふさわしい「PDCAサイクル」の構築について

【戦略⑨(推進・評価体制)】

- 施策・事業を効果的に展開し、戦略①～⑧を戦略的に推進することが必要です。全庁的な横断体制による十分な連携のもと、「PDCAサイクル」を十分に機能させ、適正な検証・評価による改善・見直しを行っていきます。
- 文化行政にふさわしい「PDCAサイクル」の構築や、府民のニーズやアーティスト等の専門性を反映することができる検証・評価体制の整備について検討します。

1. 検証評価（PDCAサイクル）の現状等

【大阪府】

(1)部局長マニフェスト、部局運営方針

毎年度、主要政策課題について、「戦略目標」、「具体的な成果指標（アウトプット、アウトカム）」を設定し、目標の達成度を測定、評価・検証するもの。

(2)大阪府文化振興計画

- * 毎年度末、施策集の進捗状況を取りまとめ。
- * 毎年、プランに掲げる指標（アウトカム）の進捗を把握・点検。

(3)他の行政計画の事例

- * 男女共同参画プラン

【国関係】

- ・「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次）」の策定に向けた文化審議会における審議の中で、有効な評価手法の確立について議論（23.1/31答申）

2. 論点整理ペーパー（別添）